Ⅱ．　協議事項

１．会費値上げについて

・３月２４日正副理事長会にての審議の報告いたします。

**＜結論＞**

今回は、会費値上げを行わない。

**＜根拠＞**

１．ここ数日で社会情勢（ウクライナ状況などお影響）が大きく変わり、エネルギー関連や生

活用品に至るまで、値上げラッシュが続いている中で、会費値上げは連盟脱会の要因

になりかねない。

また、コロナ禍の「小バブル」も一過性ものと考えれば、収束後はある程度元に戻る可能

性が高い。このタイミングでの値上げは良くない。脱会を誘発して、値上げより逆に会費収

入が減少する可能性が高い。

２．関東連盟、関西連盟の状況

　①関東連盟は逆に会費を段階的に下げて、加盟数を上げる対策をとっている。

　　加盟数を上げての会費収入増とJGRAの公益財団としての加盟数確保に動いている。

　②関西連盟については、会員数９０場を切る状況の中で、脱会の要因となる会費値上げ

は避けているようです。但し、特別会費1万円（任意）で、会員のご協力をいただいた経緯

がある。（実績30場　30万円の臨時収入）

以上のように値上げは実施していない。

３．連盟加盟継続で会費金額を維持して、併せて新入会で会費収入を増やす対策をもう一

度チャレンジする。これには、正会員の協力が必要となる。

４．会員数の減少、ジュニア財団活動停止、愛知県ゴルフ連盟の助成金中止などになった

場合は連盟経費削減（事務局並びに連盟事業の縮小など）を行い、身の丈のあった運営

を行う。

　　　５．当面の経費（事務所経費、人件費）について

　　　　　①事務所賃貸料は、2020年に14年ぶりの値上げ（８％）がありましたが当面はない。

　　　　　②人件費については、ジュニア財団のイベントで、業務が増えることや休日出勤に対して

の手当など賃上げは行うこととなりますが、ジュニア財団の活動が中止になった時点で

で賃金の見直しは行うなどで対応する。

　　　６．値上げは行っているとの意見について

ここ数十年値上げをしていないとの事ですが、2008年JGRAを退会した折に、JGRA納入

金も含めての年会費を徴収していたとの考え方では、実質退会した時点でJGRAの加入

金分値下げをしなかった経緯がある。実質の値上げではないか。

　　 **＜事例＞**

退会を防ぎ、新入会を増やす対策で会費収入の確保をする。

　　　　①JGRAのような「期間限定入会」の実施。

　　　　②連盟活動をアピール（広報ルームの活用）して、入会促進を図る。